

夏の活動報告!!

クラブセレクション

吹奏楽部

「8番、横須賀学院中等高等学校…ゴールド金賞!!!」

その瞬間、会場内からは割れる様な歓声、結果発表後のロビーでは、溢れる笑顔と涙顔…。去る7月30日に開催された県南区吹奏楽コンクールにおいて、私たち吹奏楽部は11年ぶりとなる金賞を頂くことができ、なんと上位3団体だけに渡される県大会への推薦状をも頂くことが出来ました。

「目標は奇跡の地区3位!」の言葉で始まったコンクール、最初は全く自信のない顔の生徒たちでしたが、努力と一体感の大切さを学び、予想をはるかに上回る速さでレベルアップしてくれました。私にとって「音=人」を再確認したコンクールでした。

その後、県大会も見事突破し、現在は東関東大会に向けて練習とインフルエンザ予防(1)に頑張っています。吹奏楽部は頑張っています!!



サッカー部

サッカー部の夏休みは、公式戦や校内合宿など休みなく活動しています。今年の選手権予選では3回戦で延長の末惜敗し、大変悔しい思いをしました。その悔しさをばねに、この夏は練習を重ねてきました。校内合宿では、個人の技術力を高めることはもちろん、チームの連携を深め、組織力向上も図れました。

秋からは、新大会の地区予選が始まりますので、その成果を発揮してゆきたいです。

陸上競技部

「一意専心」を合言葉に、個人個人の目標をチームメイトが協力し合って達成できるような活動をしています。中学時代に陸上競技経験がない生徒でも、楽しみながら自分の目標に向かって練習をしています。単にクラス内や学年内だけの生徒との関わりだけではなく、先輩・後輩、他校の選手、様々な指導者、色々な人との交わりが将来の自分を作り上げてくれる。だから、速いとか強いということを求める前に、仲間を大切に協力するという協調性や感謝の心を大切にしています。校外合宿や遠征大会・校外練習なども行い、今では自分たちの目標を達成させるために必要なことを貪欲に求めていく自主性が育ってきました。



汗が光る歓声が飛ぶ!!

2009年校内合宿、仲間と過ごした時間は熱かった。

他校と合同で合宿や練習を行ったクラブも多数ありました。秋からの公式戦ではきっとその成果が表れることでしょう。



青山学院との「教育提携」と 創立60周年

2009年1月30日、青山学院と横須賀学院との間で、教育提携に関する協定書が締結されました。このニュースは、翌日以降、神奈川・日経・朝日・読売等の各新聞で報道されました。これは、横須賀学院と青山学院の歴史的な結び付きに基づき、共通の教育理念を掲げる両学院のキリスト教教育の連携と接続を強化する目的を持ちます。但し、両者の学校法人としての独立性を維持することが前提です。

今回の提携は、大きな枠組みを定めた包括協定であり、現在、各分野毎に双方の担当者で、交渉を進めています。協定書の具体的な内容は、①入学制度の拡充、②高大連携授業の充実、③児童・生徒の交流の推進、④教職員の交流・研修の推進です。

今年度に入り、高大連携授業の充実に関しては、大きな前進が見られ、青山学院大学すべての学部での連携授業が実現します。既に、7月中旬に、相模原キャンパスにおいて、理工学部と社会情報学部で三つの連携授業が実施されました。秋からは、渋谷キャンパスにおいて、他の文系学部での連携授業が提起されています。青山学院に限らず、大学での学問体系や専門的研究分野、学部・学科について知るチャンスが大きく広がりました。



高大連携授業(青山学院大学 相模原キャンパス)

生徒や保護者の皆さんに最も関心の高い推薦入学制度の拡充については、7月に入ってから、2010年度入試の推薦枠が示されました。主に洗礼を受けたキリスト者を対象とする「キリスト教学校教育同盟」推薦は、前年度並みの4学部6名でしたが、指定校に関しては、新たに4学部8名が加わり合計9名に増え、合わせて7学部15名となりました。

今後、青山学院に進学した生徒たちが推薦に相応しい大学生活を送り、大学側での信頼感が更に深まり、対象の学部・学科や推薦者数が格段に拡充していくことを期待しています。

現在、学院キャンパスでは来年5月の完成を目指して、新講堂(チャペル)建築が急ピッチで進展しています。悲願のチャペル建築です。

杭打ちなどの基礎工事が終わり、地上部分の鉄骨組み立てが始まりました。職員室から見える現場の景観は、日に日に変貌しています。大きな期待感に包まれつつ、完成予想のイメージを思い描きながら、待ち望む日々です。

4月に着任した宗教主任のチャペル礼拝でのお話しに集中する生徒たちの姿は、感動的と言えます。元気に登校して、学習・クラブ・ボランティアなどの諸活動に打ち込む生徒たちを誇りに思います。希望進路の実現に真剣に取り組む生徒たちを、心から応援したいと思います。

2010年の創立60周年を契機として、基本精神である「敬人・愛人」に基づくキリスト教教育の一層の充実深化を図りたいと思います。

校長 藤野 利夫



新講堂完成予想イラスト



建設中の新講堂